

なんもく 山村ぐらし通信

予約殺到か？体験型民家

昨年10月によくスタートした「なんもく暮らし体験民家」何件かの利用申請の審査も終え本格始動！

漏れ伝わる話によれば、村内・日向雨沢地区に開設された「なんもく暮らし体験民家」には、以降何件かの問い合わせと数件の申込み申請があり、所定の審査を経た体験希望者が現在順番待ちの状況にあるらしいのです。状況が把握できていかなかった協議会メンバーにとってはなにやら嬉しいような少しばかりの驚きのような不思議な感覚なのです。もうすでに記念すべき「暮らし体験第一号申請者」の入居が行なわれているようですので、ご近所の方々や通りかかった住民の皆さんから、是非とも温かな一声を掛けて頂き、気に掛けていただければありがたいものです。



なんもく体験民家外観

24年度1～3月空家問合せ件数

電話による問合せ計	34件
(1月)	7件
(2月)	14件
(3月)	13件
メールによる問合せ計	15件
(1月)	14件
(2月)	0件
(3月)	1件
来村空家物件訪問計	6件
(1月)	0件
(2月)	3件
(3月)	3件
HP空家情報アクセス計	2533件
(1月)	678件
(2月)	904件
(3月)	951件

24年度空家問合せ総件数

電話による問合せ	(総計) 143件
メールによる問合せ	(総計) 31件
来村空家物件訪問	(総計) 27件
HP空家情報アクセス	(総計) 12,022件

これからの季節、南牧村の山々が新緑にはじけ輝く季節。体験民家の予約待ち番号は次が三番です。

四季一巡

大日向在住・湊山 修さん

大日向で「工房ひびき」という模型製作の工房を営む湊山と申します。昨年三月に家内と三人の子供と南牧村に移住して来ました。県庁で移住を受け入れて自治体を紹介してもらい最終的に南牧村に決まりました。陰しく優しい山々・南牧川の清流と自然に恵まれていたことも魅力でしたが、役場の方々が親身に相談に乗ってくれたこと、そして空家バンクで住みやすい住宅をご紹介頂けたことが決め手となりました。山村ぐらし支援協議会の皆様にはその時以来何かとお世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。移住に際しては、教育や就職等で子供たちの選択肢を狭めることになるのではと迷いもありました。子供達も生徒数の少ない学校に戸惑いもあつたようですが、友達にも恵まれて本当に逞しくなりました。地域に馴染めるかなという不安もご近所の方々が日々の生活に関することを快く教えてくださったり『子供に食べさせとくれ』と新鮮な野菜を差し入れてくださったりと親切に接して頂き吹っ飛びました。人の多い所は、人と人との繋がりが希薄になりがちです。南牧村には地域で子供を育むという風土が感じられ、子供達が村の方に元氣よく挨拶したり村の活動に参加しているのを見ると、来て良かったと思います。慣れない山村暮らしですが、たくさんの方に助けて頂き四季が一巡しました。温もり待ちかねた緑が一斉に芽吹く春。火とぼしの火が水面を照らし天を焦がす夏。豊かな土を感じさせてくれる収穫の秋。水墨画のような景色と満天の星を満喫できる冬。どれも大好きな風景となりました。振り返るとこの一年は助けて頂いてばかりでした。慣れないこともありご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、これからの一年は村にぶら下がるとはならず、微力ですが村という神輿を担ぐお手伝いができたらと思っております。今後よろしくお願ひ申し上げます。

2013(平成25)年5月号
通巻第5号版(春季号)
発行責任者:石井 悟
問合せ 南牧村役場 企画情報課
電話 0274-87-2011(代表)
紙面編集:神戸 広
発行元:南牧山村ぐらし支援協議会

我・想・明・村

耳の痛い表現もあるかと思いますが、村民の本音かもしれません。～村内在・一村民からの投稿～

この原稿を書いている四月上旬。新聞やテレビで連日のように南牧村が取り上げられています。『南牧村がテレビで取り上げられる！南牧村が新聞のシリーズで取り上げられる！』と、ワクワクしながら見てみると、どれも同じように「超高齢化」とか「限界集落」とか…。「これが、ザ・南牧村」とばかりに、戸の閉まった家、朽ち果てた家、この村で暮らす高齢者にばかりが報道され、最終的に南牧村の将来はどうなってしまうのか？南牧村に未来はあるのか？と見ている人を悲観させるような内容ばかりに感じます。これを見て、皆さんはどう感じましたか？南牧村で生活している自分にとつては残念でなりません。先人たちの知恵には敵わなず！と、一日の仕事が終わって疲れた夜の時間や、家族に『またあ？』と言われながらの休日にまで、南牧村の将来を前向きにとらえ仲間と一緒に活動している若者がいることをもつと理解して頂けたいです。『誰に？』まずは村民の皆さんにです。村内の厳しい就労状況の中であつて、公の職場に勤める人の半分近くは村外からわざわざ通い、終業と共に我が家の他自治体に帰って行く現状。方やこの村に住み、生活していくために自営業で休み無く働く人たちが、村外の勤務先へ行くために朝早く家を出て、鹿や熊のうろつく夜遅くに家に帰って来るような日々を送りながらも南牧で生活しようとなんばっている人もいます。この違いを皆さんはどう思いますか？変化を求め、何かやろうとすると「無理だから」。新たな挑戦には「拒絶」。その繰り返しで今があり、それを反省するとしたら「うまく行かなくてもいいからやってみようよ！」。そんな気持ちの変化が今の南牧村には必要だと思えます。それから行政と自分たちの間の見えない壁。自分たちの熱意を持ってでも打ち破れない事勿れ(なかれ)バリアは、強風にはなびく厄介さを感じることも。これからの南牧村を本気で考え、さまざまな意見に耳を傾け、膝を交えて本音で付き合ってもらえたら、そう感じる今日この頃です。

タイムマシンへなんもく号

懐かしい校歌・尾沢中学校編

昭和22年4月 雲めぐる 雲めぐる
新学制施行。4月29日小学校北舎階上で開校式挙行。昭和22年度から昭和62年度の閉校の41年の間に2,107名の清心豊情なる卒業生を送り出す。略歴



尾沢中学校・校歌
もえいづる もえいづる
みどり若草風ひかる
紺青の空向学のひとつみさや
かに荒船を仰ぐ心よ
ふるさとはいしああわれら
尾沢の中学生
歌いゆく 歌いゆく
みどり溪流(たにがわ)に
にぎりなき
南牧川の美しき
水のすがたに倣いつつ
学び修めん
ふるさとはいしああわれら
尾沢の中学生

<協議会からお願い>

現在、村内に移住を検討している来村者の方に、初級ルできる空家情報不足しています。空家所有者の方や情報をお持ちの方からのご理解とご協力をお待ちしております。空家の有効利用にご理解とご協力を！

協議会メンバー紹介 - 第五弾!



安養寺住職は世を忍ぶ仮の姿？ 本職はどうやら釣り人らしい。長谷川 最定氏



現在群馬県庁のある部署にておとなしくしているが、いつまで持つか…。県庁職員・宮下 さん



県庁職員の根岸さん。本人いわく『今年はもう少し南牧村に関われるようにしたいですね。』お待ちしております！



心優しき奥ちゃんは見かけによらず猟友会メンバー。そういわれれば精悍な顔つきに見えてきた…。南牧村役場職員・奥平 さん

南牧ぐらし

小沢在住・佐藤 俊策さん 寄稿

三月初旬、穏やかな春日和ののって百草園に出かけた。京王線百草園駅を下車、騒がしい車道を離れて急な坂道を休み休み行くと「梅祭り」の最中であつた。紅梅や蠟梅が咲きほころびる中、観梅客の感嘆の声を聞きながら庵でお茶を頂き多

三月初旬、穏やかな春日和ののって百草園に出かけた。京王線百草園駅を下車、騒がしい車道を離れて急な坂道を休み休み行くと「梅祭り」の最中であつた。紅梅や蠟梅が咲きほころびる中、観梅客の感嘆の声を聞きながら庵でお茶を頂き多

転任に当りつて、前警署駐在・小暮 健司、私が南牧村にやってきたのが4年前。今思えば早いような短いような4年間でした。南牧村はお年寄りが多い村で、若い人や子供が珍しく多いです。お年寄りはみな優しく、家立ち寄った際にはお茶やお菓子でもてなしてもらいました。南牧村はお年寄りが多いこともあって昔ながらの伝統や文化、感性が残っていますが、多くのみなさんから暖かくて貴重な土地だと教えてもらいます。接してもらいとても感謝しています。富岡市に出してしまうと都会的

転任に当りつて

前警署駐在・小暮 健司

「山村での生活を経験し」 前砥沢駐在・田中 義人、この南牧村に赴任し実感した。時間がゆっくり流れている感じがあり、穏やかな気持ちで日々過ごすことが出来た。何より、この地域で暮らす人々は、皆温厚で親切な人ばかりだった。豊かな自然と温厚な人柄の住民に囲まれ、他の地域では絶対に味わうことの出来ない、まさに極上の生活と言っても過言ではなかった。村内の学校の児童数減少に伴い、少人数での学校運営を余儀なくされ、それを敬遠する保護者も

山村での生活を経験し

前砥沢駐在・田中 義人

いるものと思うが、学校は様々な工夫を凝らして、きめ細やかな教育を展開しており、決してデメリットだけではないと実感した。その他、公共交通機関や就労環境の不足等が要因による人口流出が止まらない現状であるが、この地域には、これらのデメリットを補って余りある魅力があると感じている。

⑤ 老後の医療介護制度
⑥ 日常生活
⑦ 交通の便
⑧ 日常の生活
⑨ 交通の便
⑩ アンケート調査して点数化したものである。一位は豊後高田市、二位は…とあつた。ちなみに上位に共通しているのは「支援制度の充実度・老後の医療介護・日常生活」で高い満足度を提供しているとのことである。いづれにあつても課題は概ね同様であろう。様々な面で自治体に対する期待は大きくなってゆく。ポテンシャルを引き出すことが大切である。郷に入ると郷の風習を学習しつつ早くも15か月が過ぎた。

南牧川の瀬を割る岩の上で長時間獲物を待ち続けているアオサギがいる。スコップでみてみると青おびた羽毛、頭部に黒っぽい筋がある。一点を見つめて全く身動きしない。長い長い間だ。獲物は全くないらしい。インテリジェンスのないサギだと思った。しばらくして絶望したのか、諦めて飛び去っていった。三月末に、二〇四〇年をみすえた地域別将来推計人口が発表された。全ての都道府県で人口が減少する。少子高齢化と人口減のスピードが加速しているとの記事である。全国の高齢化率36・1%、群馬県36・6%だ、

編集後記
押されに押され、残ったスペースはまさしく猫の額ほどの行数。兎にも角にも各方面からの投稿・記事提供そして編集印刷配布作業へのご協力に感謝をお伝えします。あゝ名前が…

農産物の出品者が居るだろうか？ 変化もあつた。正直言って驚いた！ 誰もか思っていたことでした。決してにも乗れない切符に開店待ちで人が並ぶ、土人で数百枚のメッセージカードに道の駅スタンプを押す。そんな光景は暫く続いた。

昨年、東側に商工物産店がオープン。それにもないこの一角にお店を移転。店名を「おごっつお家」としてリニューアルオープンした。色々なメディアが取材にも来る。それを見てお客様が来るのは当たり前かも知れないが、自分だけは違っているように思っていた。しかし火曜日限定のカレーライスは毎日仕込むようになり、おごっつお家自家製カレーライスとして定番メニューに鎮座することになった。地下駐車場の上に建つ商工物産店は裏を流れる南牧川の眺めもよく、並ぶ品々には他では見つかからない物が沢山あります。お土産、珍品、きつとお気に入りが見つかるのでした。道の駅に認定されてから客層に

おごっつお家のカレーライス

～今井 浩子さん～

川の上に乗る商工物産店は裏を流れる南牧川の眺めもよく、並ぶ品々には他では見つかからない物が沢山あります。お土産、珍品、きつとお気に入りが見つかるのでした。道の駅に認定されてから客層に